



NOIなるには オンリーワンの練習

札幌日大剣道部 佐賀豊監督



高校指導者編

札幌日大剣道部の佐賀豊監督(56)は、1987年の開校以来、監督を務めている。現在、教頭として教育、部活指導を行っている。新型コロナウイルス禍で目標としてきた全国高校総体、全道高校大会が中止となった。休校で自主練習中の選手へ「オンリーワンの練習」継続を勧め、生徒と寄り添う「師弟同行」で難局克服を目指している。

生徒達から 逆に勇気を
(取材・小林 聖孝)

佐賀監督は7歳で剣道を始め、約半世紀の競技歴を重ねた現在も現役選手(教士八段)を続けている。師と弟子が一緒に汗を流し修練を重ねる「師弟同行」が指導の軸だ。過去全国高校総体では女子が個人戦優勝、団体戦3位、男子も団体戦16強入り。今年は高校総体4強以上を目標に掲げ

目標の大会中止「師弟同行」で難局乗り越える

◆札幌日大剣道部 1987年創部。現在、部員は男女合わせて29人。女子は全国高校総体・団体戦で3位3回(02、08、11年)、個人戦では、08年に宝金(ほつきん)由里香

「高校総体中止が決定した直後は、生徒たちへ、何と声をかけたらいいか言葉も見つからなかった。心配になり、寮の様子を見に行ったら、シヨックを断ち切るように、無心で自主練習に励んでいる生徒がいた。逆に勇気づけられ、「師弟同行」で、難局を乗り越えてほしい」と、思いを強くしました。

高校から名門・PL学園(大阪)に進み、総体で団体戦優勝、個人戦準Vも経験。筑波大で個人戦で日本一も達成。その経験を指導に生かしている。

LINEで個別に助言

「NOIになるには、オンリーワンの練習が必要」と言い続けている。部活休止後も、グループLINEで、1週間ごとに体幹トレ、素振り、足さばき、体さばきの自主トレーニング

◆佐賀 豊(さが・ゆたか) 1963年7月24日、羽幌町生まれ。56歳。剣道は7歳から。小学時代は野球と掛け持ち。羽幌中では全道中学4強。PL学園高3年で個人戦準V、団体戦優勝。筑波大3年で全日本学生選手権(個人戦)優勝。家族は夫人と2男1女。血液型A。好きな言葉は「破邪顕正」(不正を打破し、正しい行いを示し守ること)。

が初優勝。19年の全国高校選抜・団体戦でも3位。男子は19年の全国高校総体・団体戦16強。全道高校大会では18、19年に団体男女、個人男女の2年連続4冠を達成。

1を指示。加えて、個々が毎週課題を設定し取り組み、成果、反省を報告させ、それに対し、個別に助言を行っています。

春の選抜、夏の総体と併に高校3大会といわれる「玉童旗」(7月)も中止。今後は国体開催に望みをつなぐ。

「剣道は、人間形成の道でもある。どんな状況でも目標を見失わず、課題克服に努める。困難が生じた場合は、情報収集し対処法を探し、鍛錬。そして実行。結果を反省し、また新たな目標を設定。3年生にとっては1年という短い期間だが、希望を捨てず前向き取り組みることが、今後の人生の財産になると信じています。」